

日時

2024年2月3日(土)16:00 ~ 17:30

開催形態

Zoom (ズーム) を使用してのライブ配信

教育講演 16:00~16:45

座長: 武田 卓 先生 近畿大学東洋医学研究所 所長・教授

演者: 岩崎 克典 先生 福岡大学薬学部臨床疾患薬理学教室 教授

## 『 脳のフレイルとしての認知症に対する 漢方薬の役割とその機序 』

特別講演 16:45~17:30

座長: 橋本 衛 先生 近畿大学医学精神神経科学教室 主任教授

演者: 堀口 淳 先生 島根大学名誉教授 / 慶應大学客員教授

## 『 臨床全科における漢方の力 ～不眠や頻尿、うつや認知症などを中心に～ 』

●セミナーお申し込みについて

【事前登録二次元コード】

※本セミナーはご自身のPC・タブレット・スマートフォンにてご視聴頂けます

【事前登録用URL】登録いただいたメールアドレスに視聴用URLが送信されます。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_36mTDWV9T403qbSQGMxYoQ](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_36mTDWV9T403qbSQGMxYoQ)



大阪府医師会生涯研修システム1.5単位

CC19 (身体機能の低下)・CC83 (相補・代替医療(漢方医療を含む)) を申請中です

共催 Osaka Science-based Kampo研究会、株式会社ツムラ

RSA002125

## 【岩崎 克典 先生 ご略歴】

- 昭和60年 九州大学大学院薬学研究科博士課程修了 薬理学教室
- 昭和60年 薬学博士の学位取得  
九州大学薬博甲131号 論文名「うつ病の病態モデルとしてのmuricide 発現機構に関する神経化学的研究」
- 昭和60年 福岡大学薬学部応用薬理学教室(藤原道弘教授)助手  
九州大時代より行動薬理学が専門, うつ病モデル動物,  
認知症モデル動物の行動変容と脳内の神経伝達物質動態を研究、大黃単味の抗精神病作用、  
当帰芍薬散の抗認知症作用研究を開始
- 平成7年 米国国立衛生研究所(NIH)に留学  
Div. of Alzheimer Biol., Lab. of Clinical Sciences にてAlzheimer 病の原因遺伝子に関する研究に従事。  
プレセニリンがアポトーシスを誘発することを発見し、成果がサイエンス誌に掲載された
- 平成9年 帰国 抗認知症薬の創薬研究(新薬)、育薬研究(漢方薬)を推進
- 平成12年 福岡大学薬学部助教授
- 平成18年 福岡大学薬学部教授(臨床疾患薬理学教室)
- 令和元年 福岡大学大学院薬学研究科長 現在に至る

## 【堀口 淳 先生 ご略歴】

- 1979年3月 福島県立医科大学卒業後、愛媛大学医学部神経精神医学講座入局
- 1987年5月 同・講師
- 1996年4月 広島大学医学部神経精神医学・助教授
- 1999年9月 島根医科大学(現・島根大学)精神医学講座・教授
- 2016年1月 ハサヌディン大学・客員教授(インドネシア)
- 2018年1月 島根大学名誉教授
- 2018年11月 慶応大学客員教授  
現在に至る

## &lt;学会活動&gt;

国際老年神経精神薬理学会(教育委員)、日本神経精神医学会理事長、日本老年精神医学会理事(教育委員長)  
日本臨床精神神経薬理学会理事、日本精神科診断学会理事など歴任

## &lt;主要研究領域&gt;

抗精神病薬誘発性錐体外路症状に関する精神神経薬理学的研究  
睡眠医学、特にむずむず脚症候群に関する臨床研究  
老年期の精神障害に関する臨床精神薬理学的研究

## &lt;著書&gt;

教科書・標準精神医学 睡眠学ハンドブック エビデンス漢方治療 など

## 【お問合せ】

株式会社ツムラ・堺営業所(担当:岡本)

TEL:06-6441-4138 ※当日の連絡先:080-6560-0979 (岡本携帯)

二次元バーコードまたは URL が読み取れない場合は、okamoto\_yuusuke@mail.tsumura.co.jp まで  
メールにて視聴希望の旨をご連絡をお願いいたします

## (個人情報について)

本セミナーにご参加された方々の個人情報を以下の目的にご利用させていただいております。  
なお、個人情報につきましては、安全管理のために必要な措置を講じ、適切に保管・管理を行います。

- ① 本セミナーの運営の為
- ② 本セミナーの開催に関する情報提供の為